

2022年 なくそテ原発大集会

「なくそテ原発・柏崎大集会実行委員会」は、柏崎刈羽原発再稼働への地ならしが進む情勢のなか、いかにしたら全县の力を結集する集会にできるかについて会合を重ねてきました。

討議の結果、新型コロナウイルスの第7波をふまえて、今秋の集会は「DVD 講演会と外での宣伝行動」を10月初旬～12月初旬の期間に各地で行うことになりました。

◇集会のキャッチフレーズ

今こそ再エネへ大シフトを！

= どうする？ 避難・核のゴミ =



なくそテ原発 2022講演会 in 長岡のご案内

◇と き 10月15日(土)
13:30～15:30

◇ところ トモシア(表町)

◇内 容 DVD講演会とパレード

◇講 師 本間 保 さん
(柏崎刈羽市民ネットワーク代表、医師)



※詳細は次号で案内チラシとともにお知らせします。

●原発汚染水の海放出認可に抗議します

漁業者をはじめ多くの人たちの反対の声の中、規制委の認可に続き県・町が了解して放出工事着工。放出終了まで数十年かかるとのこと。漁業者にとっては死活問題であり、環境汚染も懸念されます。政府と東電が2015年に漁業者と交わした「関係者の理解なしには、いかなる処分も行わない」約束を守ることを、放出を中止することを求めます。

●ロシアによるザポロジエ原発攻撃に抗議し、即時撤退を求めます

経産省「原発を最大限活用」(23年度重点政策案公表)
8月4日経産省は23年度重点政策案を公表。エネルギー関連では原発・再生可能エネルギーの最大限活用を掲げ、原発再稼働と次世代原子力の研究開発の強化なども明記。
岸田首相は今冬に最大9基の原発を稼働させる方針。西村経産相は、来夏以降の安定供給に向けて、柏崎刈羽原発を全

国の原発のさらなる再稼働が必要だとされています。福島原発事故への反省もなく、原発を推進する政府。コスト面や核のゴミの問題、武力攻撃の標的になる点からも、未来世代に対してあまりに無責任な態度ではないでしょうか。まして、トランプ大統領で運転資格が問われている東電の柏崎刈羽原発再稼働は認めるわけにはいきません。

国は「原発ゼロ基本法」を制定し、原発ゼロの決断を！ 国産100%の再生可能エネルギーへの抜本的転換を！

9月のアオーレ前11行動は、9/11(日)12:00～12:30です。ぜひご参加ください。

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第126号 2022年 8月29日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707